

チームかずま YOKOHAMA通信 八月号

「しあわせつづき」子どもに誇りを。地域にぬくもりを。税金に納得を。

むろい一真 7月の活動

街宣・駅立ち

駅立ちを十四回、街頭演説を四回行いました。また、区民の皆様へのご挨拶を行い、積極的に地域課題の解決に取り組んでおります。回を重ねる毎に、「参政党しかないから、頑張つて」と声をかけてくださる方、握手しに来てくださる方が増え、区民の方の期待を感じております。



お祭り参加

都筑区内のお祭りに参加し、区民の方と交流を重ねました。「A横浜メルカート北店では、最難関のコイン入に一発で成功して、カブトムシを頂戴しました！」また、横浜市無形文化財「虫送



子どもとお囃子チームで参加

り」では笛の吹き手として参加しました。江戸時代から続く、このお祭りに、我が子と関われたことを誇りに思います。

お困り相談室

都筑区の住民から数多のお困りごとを受け、役所への意見提出を行ってまいりました。

- ・バス停へのベンチ設置依頼
- ・たばこのポイ捨ては正に向けた看板設置依頼
- ・大量のごみ放置に対する近隣住民からの苦情対応



ゴミの放置問題は外国人所有者による開発放棄地。資源循環局と協議中。

共生がうまくいっていると言われている都筑区で起きた外国人によるごみ放置問題は、日本全国で起きている住民摩擦の一端を垣間見た思いでした。「所有権」という不可侵の権利を一度取得されてしまうと、たとえ外国人であっても、簡単に役所が手を出すことができなくなってしまう。土地取得者に対する事前チェック、用途確認の必要性を強く感じる事例です。

今月の重点課題

中学校給食ハマ弁の異物混入件数が過去最多のペースで増えています。25年366件を超える、年間600件ペースです。また、量の少なさに保護者から不満の声がある中、昭和平成との比較動画を作成し、広報に努めております。折本町に新しく給食センターが作られました。それを踏まえて、地産地消プロジェクトを立ち上げて、子どもたちの給食が安心安全で、おなかいっぱいになるよう、訴え続けてまいります。



給食の分量比較動画はこちら

チームかずまって
どんなチーム？

できる人が、できる時に、できる形でチームかずまは、難しい組織ではありません。地域をよくしたい人が、情報を持ち寄り、活動を少しずつ支える場です。

皆さまからの地域情報をお寄せください。道路、公園、学校、福祉、防犯、気になることを市政に届けます。地域の声こそが、むろい一真の力の源です。

muroi.sanseirou@gmail.com